

考古の日記念

出土文化財展

昭和61年度発掘調査

1987

掛川市教育委員会

昭和61年度発掘調査の内容

八景山古墳・原新田遺跡

- 1、調査地点 上西郷字原新田58-1 外
- 2、調査の原因 城北小学校体育館建設に伴う拡張造成
- 3、調査の面積 2,875㎡
- 4、調査の期間 S61年6月2日～10月
- 5、調査の内容

弥生時代後期の住居跡15軒と方形周溝墓1基、その他土坑18基を確認した。また調査区の東域において大溝を確認しており、この集落(村)が環濠集落であることを確認した。尚、方形周溝墓の主体部から東日本では非常に珍しい鉄製短剣(長さ21.9cm・幅2.9cm・厚さ0.5cm)が完全な形で出土した。八景山古墳については、規模直径15m・高さmの円墳であることがわかった。主体部からは、鉄製短剣(長さ33.2cm・幅3.0cm・厚さ0.8cm)が完全な形で出土した。

高田上ノ段遺跡

- 1、調査地点 高田字大塚越1,047-1
- 2、調査の原因 茶園改植による緊急発掘調査
- 3、調査の面積 850㎡
- 4、調査の期間 S61年8月20日～11月20日
- 5、調査の内容

弥生時代後期の遺物を出した小穴105基、土坑4基、意味不明以降20基を検出した。これらのことから、高田上ノ段遺跡の中心部が本調査地点の東側一帯にあることと、当時の集落(村)周辺の状況がわかった。

瀬戸山I-a遺跡

- 1、調査地点 吉岡字花ヶ脇1,627
- 2、調査の原因 茶園改植による緊急発掘調査
- 3、調査の面積 483㎡
- 4、調査の期間 S61年10月23日～S62年3月31日
- 5、調査の内容

弥生時代後期～古墳時代前期の集落の中心部を確認。住居跡24軒、掘立柱建物跡4棟、小穴多数を検出した。出土遺物は、弥生式土器(壺・甕・高坏)・古式土師器(壺・甕・高坏)多数である。

その他、近世陶器を出土した溝8条の検出、縄文時代中期土器・石器を出土した。

瀬戸山I-b遺跡

- 1、調査地点 吉岡字花ヶ脇1,909-8
- 2、調査の原因 茶園改植による緊急発掘調査
- 3、調査の面積 302㎡
- 4、調査の期間 S62年1月19日～3月31日
- 5、調査の内容

弥生時代後期～古墳時代前期の集落の一端を確認。掘立柱建物跡1棟、その他小穴多数を検出した。出土遺物は弥生式土器(壺・甕・高坏)、古式土師器(壺・甕・高坏)である。

吉岡原遺跡

- 1、調査地点 吉岡字道下1,537-1
- 2、調査の原因 茶園改植による緊急発掘調査
- 3、調査の面積 575㎡
- 4、調査の期間 S61年11月21日～S62年3月31日
- 5、調査の内容

弥生時代後期～古墳時代前期の集落の一端を確認。住居跡8軒、掘立柱建物跡1棟、土抗10基、小穴多数を検出した。出土遺物は、弥生式土器（壺・甕高坏）、古式土師器（壺・甕・高坏）である。
その他時代時期は不明であるが、古墳の周溝1条を確認している。

山郷山遺跡

- 1、調査地点 宮脇字池村1,138-1 外
- 2、調査の原因 宅地造成
- 3、調査の面積 543㎡
- 4、調査の期間 S62年3月9日～3月30日
- 5、調査の内容

調査区山頂部に削り出し築造の塚（直径7m、時期不明）1基、奈良時代及び近世（江戸時代）～現代の土灰墓10基、時代不明の炭焼窯1基を検出。出土遺物は、奈良時代須恵器（坏）・土師器（甕・坏）、近世陶器、キセル等である。

遺 跡 の 位 置





文化財愛護シンボルマーク